慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1963
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.56, No.5 (1963. 5)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19630501-0093

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

明治十年の西南戦争に朝野の輿論があげて西郷を敵視したとき、「抵抗の精神」を保存してその気脈を絶つことなからしめんが為に、敢えて西郷に与した福沢は、後年勝伯の機会主義を批判して衆人をおどろかせたことがある。其の説に云う。

「…勝氏は予め必敗を期し、其未だ実際に敗れざるに先んじて自から自家の大権を投棄し只管平和を買はんとて勉めたる者なれば兵乱の為めに人を殺し財を散ずるの禍をば軽くしたりと雖も、立国の要素たる痩我慢の士風を傷ふたるの責は免る可らず。殺人散財は一時の禍にして、士風の維持は万世の要なり。此を典して彼を買ふ、其功罪相償ふや否や……権りに和議を講じて円滑に事を纉めたるは、唯その時の兵禍を恐れて人民を塗炭に救はんが為めのみなれども、本来立国の要は痩我慢の一義に在り、況んや今後敵国外患の変なきを期す可らざるに於てをや。斯る大切の場合に臨んでは兵禍は恐るゝに足らず、天下後世国を立てゝ外に交はらんとする者は、努々吾輩新の挙動を学んで権道に就く可らず…」と。

大思想家の片言隻語に教条の烙印を押し付ける最新の流行が赴く処、三田の個人崇拝にたいしても権威主義の非難はありえよう。しかしながら近代の日本に欠けるところの者は一片の信条、古来日本の上流社会に重んずる所の「痩我慢の一大義」である。

（田　中）

昭和三十八年五月一日発行

© 三田学会雑誌　第五十六巻 第五号

定価　一二〇円（送料一二円）

東京都港区芝三田二丁目二番地
慶應義塾経済学会
編集兼発行人　代表者　山本　登
電話三田（45）五一八一
振替口座番号　東京四四〇五六

東京都港区芝三田豊岡町八番地
印刷者　図書印刷株式会社
安倍七郎

半ヵ年予約購読料（送料共）　七二〇円
一ヵ年　〃　〃　一四四〇円
御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

発売所　東京都高輪局区内三田綱町一番地
慶應通信
振替口座番号　東京一五五四九七